（会報12号）　　　　　　　　　 　　　　 　　 　　　　　　　2023.7.15

**特定非営利活動法人権利擁護トーチ**

2023年度通常総会のご報告

５月28日（日）天白区のカフェ・ハミングバードにおいて2023年度通常総会を開催しました。会場は社会福祉法人ほっとはむが運営するスペースをお借りしました（平日は喫茶店となっており、障害のある方による手作りの焼きたてパンとおいいしいコーヒーがいただけます。モーニングやランチもありますのでお気軽にご利用ください）。コロナもひと区切りついたこともあり、会員総数13名のうち、参加者は７名とこれまでで一番多く、書面議決提出者は６名でした。

　総会では、2022年度事業報告・決算報告、2023年度事業計画・活動予算、役員の選任が満場一致で承認されました。

　事業報告、決算報告では、各種規程整備に取り組んできたこと、特例認定取得ができなかったこと、利用会員が21名にとどまっている現状とその原因がスタッフ不足や広報活動の不足があったこと、学習会が定着してきたことなどが報告されました。

　事業計画、活動予算では、利用会員は３０名をめざすこと、学習会を継続すること、交流事業をなんとか始めたいとの報告がなされました。

役員選任では、新たな理事として、老人福祉施設の現役施設長である村田𠮷隆氏が選任されました。

意見交換では、認定を受けることのメリットや、身元保証がないと入所が難しいことの施設側からの本音、養護老人ホームでも身元保証がつかないとまわっていかなくなっている状況、力のある法人がネットワークの中心となってほしいこと、行政ももっと関与してほしいなどの意見がありました。

いつもとは違ったメンバーの参加があり、活発な意見交換ができました。ありがとうございました。

第４回高齢者の人権学習会のご案内～

トーチは、毎年２回、夏と冬に事業関係者や地域の方向けの啓発事業として学習会を行っています。

今回は、医療介護事業者、行政関係者、NPO関係者向けの学習会を下記のとおり開催します。

会員の皆様には後日ちらしをお送りしますので、お時間があれば是非ご参加ください。

◯日時　　2023年9月3日（日）午後1時30分　～　午後4時

◯場所　　昭和生涯学習センター視聴覚室（昭和区石仏町1-48　℡852-1144）

◯内容　　第一部　「身元保証契約の課題」

髙森裕司弁護士（南部法律事務所平針事務所）

第二部　「身元保証等高齢者サポートサービスの功罪」

西岡楠也（ＮＰＯ法人トーチ理事長）

　◯参加費　無料　　　※事前申し込み制

＜発行元＞　　特定非営利活動法人権利擁護トーチ

名古屋市天白区池場四丁目802番地の2　TEL／FAX　　052-803-6581

取り戻そう！寄り添う心

定年後、嘱託職員として10年以上、生活保護の現場で仕事をさせてもらっている。昔は良かったというのは年寄りの常套句だが、そんな単純な話ではない。昔は、水際作戦で追い返すインテークはどこにもあった。今は要保護状態で申請すればまず受理される。問題にされている扶養調査も本人の意向・生活歴によっては実施もされない。捕足率の問題はあるが、昔に比べて利用しやすい制度になっている。

生活保護の世帯数は、30年ぐらい前から比べる極端に増加。私自身が過去に勤務していた小さな区は230世帯、ケースワーカーが3人だったが、この４月の世帯数を見ると1,900世帯に近い。ケースワーカー増が世帯増においつくはずもなく、半数近く非正規職員が配置されている。

就労支援員、介護・医療嘱託、訪問活動支援員、年金相談員、警察ＯＢ、事務補助嘱託さらに職安のサテライトも常駐と業務が細分化されている。よほどチームとして連携が強くないとケースワーカーが対象者を丸ごと見るのは至難の業。大きい組織になれば余計に連携は難しい。アナログ人間から見ると実にデジタル化された生活保護になっている。そうしなければ回っていかないのだろう。そして事務的に齟齬がないよう求められため、ケースワークにかける余裕がなく必要な支援は見えなくなっている。

年寄りは口の中でもごもご言うしかない。人と人との関わりはエンパアシーとセーフティ。プレデーミカコさん風に言うならば、「他人の靴を履いてみる」。そして寄り添う中で安心してもらえる支援。うーん、絶望的。

6月3日、朝日新聞の天声人語。川崎市で大学生ボランテアイアが40人の中高生の無料塾を運営。代表者の言葉。大事なことはと聞かれ「人情と思いやりです」。なんとアナログ的。若者に希望を託すしかない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｎ.Ｉ

（投稿ありがとうございました。同じ釜の飯を食べた者として共感することが沢山ありました。）

　　　旅行の記パートⅡ

会報第１０号にあったK.Iさんの旅行の記にうながされ、４月上旬にパートナーと広島に行ってきました。１日目はまず宮島駅そばの老舗穴子めしでランチです。フェリーで宮島にわたり世界遺産厳島神社参拝と弥山（みせん）登山。ロープウエイは長時間待ちでしたが、山頂から見る瀬戸内海はとても穏やかで絵画のようでした。参道ではご当地名物のあげまんじゅうをおいしくいただきました。

翌日、世界遺産航路で平和公園に直行。途中で見た牡蠣筏は壮観でした。いよいよ原爆ドーム、平和記念資料館の見学。ここも外国の方が多い！今から78年前に広島、長崎に暮らす多数の民間人が原子爆弾によって犠牲になった無念さを眼に焼き付け、なぜこんなことになったのかに思いをはせることができました。

アメリカでは原爆投下は今でも必要だったという人が多数いるそうです。戦争は人の理性や感覚を狂わせる力があるようです。戦後教育を受けてきた世代の一人として平和憲法のもとでこそ今があると感じていますが、今後、日本や世界がどの方向に向かうのか。どちらかといえば不安が先に立ちますが、この平和をなんとか維持できるよう願うばかりです。平和公園から乗降方法に戸惑いながら２両連結の市電に乗り、広島駅でみつけたお店で本場の広島焼きをいただき無事帰路に着きました。思い出深い旅行になりました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｎ.Ｋ